

「今を未来につなげる修学旅行のとりくみ」 ～保々地区 18 年間（社会へ）の育ちのプログラムより～

三重県四日市市立保々中学校

はじめに

1 本校の概要

平成 23 年度の本校生徒数は 208 人，学級数は普通学級 7（1 年生：3 学級，2 年生：2 学級，3 年生：2 学級），特別支援学級 1 で，ここ数年，生徒・学級数等に大きな変動はない。

本校が位置する保々地区は，四日市市の北西部に位置し，菰野町，いなべ市，東員町と接している。校区の大部分は，水と緑に囲まれ水田が広がっており，昔からの集落が多い。三世同居（敷地内を含む）の家庭も一定数あり，経済的には比較的安定した家庭が多いが，ここ数年，就学援助家庭の割合は増加傾向にある。現在，外国籍児童・生徒の在籍はなく，年度内の児童・生徒の異動も少ない。特別支援学級在籍生徒は 1～2 名である。校区の一部，校区北部と南部には開発された住宅団地があり，南東部には工業団地が造成されて大工場が立地している。

2 『保々地区 18 年間（社会への）育ちのプログラム』と本校の『学校づくりビジョン』

高校を卒業し，就職した子どもたちのおよそ半数が 3 年以内に離職し，なかなか再就職できないでいる状況が全国的に見られる。その原因としては，自尊感情の低さやコミュニケーション能力の不足，生活につながる基礎学力や粘り強さの不足などがあげられている。

保々地区では，平成 20（2008）年，地区内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・周辺の高校・人権プラザが連携し，地域の子どもたちの実態や現実から深く学び，「今を未来につなげられる子」，すなわち「自己実現できる子」の育成を目指して，『保々地区 18 年間（社会への）育ちのプログラム』を作成した。この中では，今の子どもたちに将来につけたい力を，『豊かな感性』『やり切る態度』『生きぬく基礎』の 3 本柱とし，これらをつけるために 6 つの視点「だいすき」「つながる」「じっくり」「やってみる」「すこやか」「まなぶ」を設定し，5 つのステージ別につけたい力を示した（次頁参照）。子どもたちが自らの特性をみつめ，自らの生活を切り拓き，社会的自立を目指すキャリア教育は，以前から校区内で連携して重点的に取り組んできた人権・同和教育の目指す「進路保障」の取り組みでもある。

そして平成 21（2009）年度，保々地区の保・幼・小・中・高・人権プラザの職員が同じこの『プログラム』を基にして将来の共通の子ども姿を描いてキャリア教育の取り組みをスタートさせた。本校でも，この『プログラム』との関連を図って『学校づくりビジョン』（次頁参照）の指導の重点等を設定し，教育活動に取り組んでいる。また，学校行事をはじめとした特別活動や総合的な学習の時間，校区の保・幼・小・高との合同研修会（教科授業の参観等）においては，この『プログラム』を活用して指導を行ったり，ステージ別のつけたい力が個々の幼児・児童・生徒につけられているのかなどについて研修を深めたりしている。

『保々地区18年間(社会への)育ちのプログラム』ステージ別のつきたい力

保々地区18年間(社会への)育ちプログラム - 「今」を未来につなげられる子をめざして - (園・学校での取り組みプログラム)

つきたい力 (3本柱)	豊かな感性		やり切る態度		生きぬく基礎							
視点	だいすき すべての人を大切にす る心を育むために、自分 自身を見つめ、自分に自 信を持つこと	つながる さまざまな出会いの中から、ながま つなげる力を身につけること	じっくり 工夫を重ね、ねばり強く 取り組んでいくこと	やってみる 今できることを自らす すんで、具体的な目標を たて、チャレンジしてい くこと	すこやか すこやかに生きていくた めの「からだ」「こころ」の もとなる力を身につけるこ と	まなぶ めあてをたてて、学 びに向き合い、「ま なび」のものとなる 力を身につけること						
ステージ5 高2以上 (社会へ)	社会の思い になる自分 に自信がも てる	場に合わせ た会話が大 きくなる	さまざまな 人と協働で きる	本音が思え るながま、相 話ができる ながまを持 つ	工夫を加え ながら粘り 強く継続す る	目標実現の ために、両 手に努力す る	自己実現の ために、新 たな行動を 起こす	自己実現の ために、機 機を活かす ことができる	社会に合わ せて自分の 行動・感情 をコントロール できる	社会に出る ための責任 感を感じてい る	生き方につな がる 学習に取り組 む	
ステージ4 高1 中3 中2	自分の長所 を伸ばす勢 力を続ける	ありのまま の自分に向 き合い、生き 方を考えら れる	場に合わせ た会話が大 切だとわか る	考えの遠い を認めたと で、自分の 意見が思え る	自分を誇り 合えるなが まになる	困難なこと でもやり通 す	事後の振り返 りを行う	自発的に熱 心に取り組 む	自己決定の ために、情 報を活かす ことができる	自分の行動 ・感情をコン ロールでき る	社会性(規 則・ルール)を 身につける	目標を持って学 習ができる
ステージ3 中1 6年生 5年生	自分の長所 を伸ばす勢 力を伸ばす	ありのまま の自分を受け 入れられる	場に合わせ た会話が大 きくなる	ながまの思 いを受け止 めることが できる	集団として 高まろうと するながま になる	自分の力で あきらめず にやり通す	物事を計画 ・実行し、返 る	意気を持って 挑戦する	自分に校立 つ機能を理 解することが できる	生活リズムを 作って、体質 を整える	ルールを守 り、マナーを 身につける	自分で学習をみ つ けて取り組む
ステージ2 4年生 3年生 2年生	自分のいい ところが見 える	自分からあ いさつがで きる	自分の思い を伝えるこ とができる	みんなです る活動を一 緒に楽しむ	新しい楽しさ を知る 自分の仕事を やり切る	いろいろなこ とに興味を 持つ、自分 からやっ てみる		自分できら まれる 好きない な く食べる	約束を守 れる	自分で(考え られた 指 導などの)学 習 ができる		
ステージ1 1年生 幼稚園 保育園	自分の好き なものが言 える	あいさつが できる	自分の思い が言える	友だちと等 富(遊ぶ) ことを楽し いと見える	喜び(遊び)に夢中 になる 考えられた 仕事をやり 切る	いろいろなこ とに興味を 持つ、やっ てみる		よく寝る よく食べる よく遊ぶ	約束を大 切にでき る	自分のこ とが自分 でできる		

この表の見方 第2ステージであれば、4年生が替わる頃に、自分のいいところが見える子・自分からあいさつができる子を目標にしているということです。その力がつくように、各学年(2年生・3年生・4年生)で成長段階に合わせて取り組むということです。

『平成23~25年度 保々中学校 学校づくりビジョン(平成23年度の重点・目標数値)』

平成22~25年度
保々中学校
学校づくり
ビジョン

保々地区18年間育ちのプログラムによる系統的な指導

めざす
生徒像

豊かな感性

大好き・つながる

自分に自信を持ち、さまざまな出会いの中から仲間とつながる力を身につける

(1) すべての教科において生徒と生徒がつながる学び合いのある授業を行います
(2) 話し合いのルールやマナーの定着、コミュニケーション能力を高める指導を行います
(3) 学級・生徒集団づくりに力を入れ、人権教育や道徳教育を充実させます

平成23年度の重点・目標数値

<自尊感情(自信や誇り)を高めます>

・学び合い学習と仲間づくりについての指導を重点的に行います。
「自分にはよいところがあると思う」という生徒の割合を80%以上にします。

やり切る態度

じっくり・やってみる

目標実現のため、見通しをもち、ねばり強く(実行し、振り返り、チャレンジする)力を身につける

(4) 体験的な学習(修学旅行、自然教室、職場・福祉・高校生活体験等)を充実させます
(5) 自己学習力(自学自習の力)を育てる指導に取り組みます
(6) 教師が一方向的に教え込むだけではない問題解決型の授業にも取り組みます

平成23年度の重点・目標数値

<主体的に物事に取り組む力を育てます>

・生徒のPDCA能力の向上に向けた指導を重点的に行います。
「自分で目標を立てて計画して自主的に取り組むことが増えている」という生徒の割合を80%以上にします。

生きぬく基礎

すこやか・学ぶ

健康やかに生きていくための健全な心身の発達と生きる力の基礎を身につける

(7) 数学や英語科等における少人数授業や個に応じた指導を充実させます
(8) 時間、服装、あいさつ、そうじ、提出物の指導に力を入れます
(9) 食育・生活リズムの指導や教育相談に力を入れます

平成23年度の重点・目標数値

<学習習慣をつけます>

・生徒の学習習慣の定着に向けた指導を重点的に行います。
「家庭学習の時間が1時間以上」という生徒の割合を80%以上にします。

信頼される学校づくり

(10) 教師力および組織としての学校の力を高めます

(11) 家庭や地域等との連携を強めます

(12) 開かれた学校づくりを進めます

平成23年度の重点・目標数値

<生徒の防災意識や地域への愛着の気持ちを高めます>

・学校集会や地区別集会、避難訓練、三者懇談会の場などで生徒や保護者に防災訓練や地区行事への積極的な参加を呼びかけ、部活単位でも協力します。
平成23年度の各地区防災訓練(8.9.10月実施予定)への参加生徒の割合を30%以上にします。

今を未来につなげられる子

東日本大震災による修学旅行の目的地・実施方法等の変更

本校は、これまで東海三県中学校修学旅行委員会の連合体輸送にずっと参加し、東京・千葉方面を目的地として2泊3日の日程で修学旅行を実施してきた。しかし、今年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による東日本大震災のため、昨年度末から様々な対応が必要となり、平成23年度の修学旅行については、目的地や実施方法等を変更せざるを得なくなった。このような状況の中で、本校は、本市教育委員会の指導・助言や本市中学校長会による調整等を通じて危機管理に努め、保護者・生徒の理解・協力を得ながら今年度の修学旅行の取り組みを進めてきた。

以下に、東日本大震災による目的地や実施方法等の変更にかかわる昨年度末から23年度当初にかけての本校の対応内容を時系列で示す。

3月22日(火) 本県教育委員会からの『東北・関東地方における教育活動の実施予定に係る調査』に対して本校は、「3月22日現在、関東方面への修学旅行を計画通り実施する予定」と回答する。同時に、本校から旅行取扱業者に対して、広島方面への代案検討を打診する。

3月23日(水) 本市教育委員会から『修学旅行についての検討』依頼文書が出される。

23.3.23 四日市市教育委員会指導課からのメール文
中) 関東地方への修学旅行等校外学習の実施について(依頼)
各中学校長様
関東地方への修学旅行等校外学習の実施について(依頼)
みだしのことについて、今回の東北地方太平洋沖地震の影響を受け、関東地方を修学旅行先として計画している学校に置かれましては、実施の時期や内容等、検討していただいていることと思います。
つきましては、下記の視点により検討の上、適切に判断していただきますよう願います。

1 検討の視点

- (1) 関東地方への修学旅行の実施については、地震の影響によって現地の状況が変わっていることが考えられるため、生徒の安全確保を第一に考え、関係業者や現地等にその確認をしながら万全の体制をとるよう努めること。
- (2) 現地の状況(見直しを含む)によっては、実施時期及び見学先や見学方法(分散を団体へ)の変更等も視野に入れた対応をすること。
- (3) 計画を変更する場合は、生徒や保護者への説明を十分に行い、理解が得られるよう努めること。

2 参考資料

- (資料1) 東北地方太平洋沖地震の影響に伴う修学旅行実施についての旅行会社との情報交換内容
- (資料2) 旅行契約の解除又は参加人員の変更に伴う一部人員に係る契約の解除
- (資料3) 関東地方等の各施設の被害・営業状況(3月18日現在)

3月25日(金) 本校から旅行取扱業者に対して、広島方面への具体的代案作成を依頼する。

3月28日(月) 旅行取扱業者から本校に、「6月20日出発2泊3日の日程、費用58,000円以内、広島・神戸・大阪方面へ変更可能」との回答がある。

3月28日(月) 本市中学校長会役員会で修学旅行にかかわる県内各地域、本市各中学校の状況確認、本市中学校長会としての方向性の検討等が行われる。

3月29日(火) 本市中学校長会役員会担当より、「本市中学校長会として、修学旅行についての足並みを(一定)そろえる必要があり、実施時期、または方面の変更について各校で検討する」との指示・調整の連絡が本校校長に入る。

3月29日時点での県内各地域、本市各中学校の状況

県内他市では、修学旅行の行き先、実施期日の変更を検討しているところが多く、修学旅行について「市教委の承認・許可制」をとる他市では市教委がストップをかけて方面変更を指示しているところがあるとの情報が入る。本市は「市教委への届出制」をとっているが、ほとんどの中学校で東京方面から広島・神戸方面への変更を検討（決定）しており、一部、都内行動を分散から団体に変更するのみの予定の学校もあった。また、劇団四季のキャンセル問題が課題になっている学校も多い状況にあった。

3月29日（火） 校長、教頭、学年主任で会議を開き、「6月20日出発、広島・神戸・大阪方面に変更」とし、年度初めの職員・保護者・生徒への連絡等について確認する。

3月29日（火）～3月31日（木） 東海三県中学校修学旅行委員会担当の本市中学校長から「東海三県中学校修学旅行委員会事務局への確認事項」をはじめ、「連合体参加辞退届書」「連合体参加辞退届に必要な新幹線等の予約内容一覧表」「近鉄利用報告用紙」「辞退届例」などがメールで送付される。

4月1日（金） 職員会議で「6月20日出発、広島・神戸・大阪方面に変更」について説明・確認する。また、同日夜開催のPTA本部役員会で説明し、理解・協力を依頼する。

4月2日（土） 本校より東海三県中学校修学旅行委員会事務局へ「連合体参加辞退届」を郵送し、修学旅行委員会担当の本市中学校長へ「近鉄変更届」を送付する。

4月6日（水） 3年生徒へは学年集会の場で、保護者へは配付文書にて、「関東地方における今後の余震の発生や計画停電の実施など安全上の理由により行き先を広島・神戸・大阪方面に変更して6月20日に出発する」ことを説明する。

4月7日（木） 東海三県中学校修学旅行委員会担当の本市中学校長から「新幹線のキャンセル料の発生なし、新幹線片道利用時の特急料金割引なし」のメールが入る。

4月22日（金） 3年保護者対象の修学旅行説明会で「6月20日出発、広島・神戸・大阪方面に変更」を確認し、今後の取り組み等について説明する。

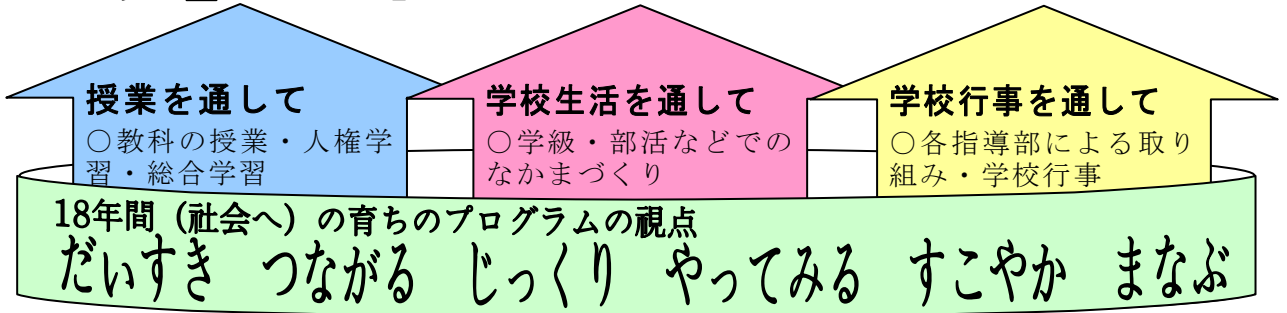
本校は、以上のような対応を行ったが、生徒の反応としては、当初は一部、「大阪やUSJはこれまでも家族や小学校時の修学旅行で行ったこともあるので東京方面がよかった」との声も聞かれた。しかし、テレビ等でずっと被災地の映像等が流される中で、「行き先等の変更ぐらいは仕方ない」「被災された方のことを考えれば修学旅行に行けるだけでも幸せ」と考えた生徒も多く、その後の修学旅行に対する取り組み姿勢も前向きであった。保護者についても、今回の変更等は安全上の理由からのものであり変更等に対する否定的な反応等は全くなかった。

また、安全面を最優先とした本市教育委員会の指導・助言と本市中学校長会による調整等がうまく機能するとともに、東海三県中学校修学旅行委員会事務局のご協力により、本校ではスムーズに変更の対応や必要な事務手続きをとることができた。最終的に、連合体輸送に参加していた本市中学校19校は、すべて目的地を広島等の西方面へ変更して今年度の修学旅行を実施した。

III 平成22(2010)年度の実践

1 修学旅行の位置づけ(保々地区18年間【社会へ】の育ちのプログラムより)とねらい

「今」を未来につなげられる子



「18年間(社会へ)の育ちプログラム「今」を未来につなげられる子」

2010年度の取り組み

つけたい力	視点	ステージ4	中学3年生		
		中3 中2 高1	現状・課題	めざす生徒の具体的な姿	具体的な手立て
豊かな感性	大好き	自分の長所を伸ばす努力を続ける。 ありのままの自分に向き合い、生き方を考えられる。	将来の進路に向けた自己理解がまだ、十分にできていない。 ・周りの友達の意見に流される傾向が強い。	・自分の進路を考え、真面目に学習に取り組むことができる。	・進路学習では、自分の適性を考える内容のものに取り組ませる。 ・行事では、班員や学級の仲間の頑張っている姿を書かせる。
	つながる	場に合わせて会話の力が大切だとわかる。 仲間とつながる力を身につけること	仲間が良く、班活動など支障なくやってくれるが、コミュニケーション力の弱さも見られ、自分の思いを相手にしっかりと伝えることができない。	・修学旅行では、一人ひとりが自分の役割を担うことができる。	・リーダーを中心に、活動しやすい班作りの場を、1
やり切る態度	じっくり	困難なことでもやり遂げる。 事後の振り返りを次に生かす。	自分で丁寧にじっくりやれない。 ・振り返りすることはできるが、その振り返りを場面に生かすところまではできていない。	・毎日のシート学習を、裏・表きちんと取り組む。 ・行事に対して、目標を意識して取り組み、事後の振り返りの中に、具体的な言葉として書くことができる。	・点検活動をし、一人ひとりに声をかける。 ・取り組みのないときは、支援をしながら、その日のうちに取り組ませ、達成感を味わわせる。 ・毎日の活動の中で、きちんとできたことに対して、評価する。 ・目標を常に意識できるシートを使って、振り返りをさせる。
	やってみる	自発的に挑戦する。 自己決定のために、情報を選ぶことができる。	自発的に考え、自分から取り組むことはできない。	・日常生活の中で、具体的な目標をたてて活動し、自己評価できる。	・目標を常に意識できるシートを使って、振り返りをさせる。
生きぬく基礎	すこやか	自分の行動・感情をコントロールできる。 社会的な規範・ルールを身につける。	集団の中で、自分の感情を出さずに抑えている子もいる。ルールを意識した行動ができていないことがある。 ・時間を意識した行動は出来はじめていて、場合によっては、対応しきれず、意識できていないことがある。		把握し、自
	学ぶ	目標を持って学習ができる。	集団の中で、班活動やペア学習などで協力して授業に取り組もうとする姿勢は定着しているが、自ら、高い目標をたて、自発的に学習することは苦手である。	・テスト計画をしっかりと立て、それによって、学習することができる。自己評価のAが8割以上ある。	・頑張っている子の学習方法を紹介する。 ・テスト計画を毎日提出させ、点検する。

保々中生の弱み①
つながりはあるが、固定化されたつながりであるため、自分を語り合い、集団として高まるところまではいかない。

保々中生の弱み②
新しいことに挑戦したり、自ら積極的に実践していこうとする自主性が弱い。

本校では校外学習として、1年生で自然教室(2泊3日)、2年生で社会見学(本学年は名古屋分散学習・劇団四季観劇)職場体験実習3日間、そして3年生で修学旅行を行っている。よって修学旅行は3年間の校外学習のまとめとして位置づけている。また、保々地区で一体となって「今を未来につなげられる子」の育成のために取り組んでいる「保々地区版キャリア教育『18年間育ちのプログラム』」のつけたい3つの力(6つの視点)育成のための1つの手段として位置づけている。

2010年度の修学旅行では、左記プログラムに照らして、本学年の弱みである「つながる」と「やってみる」の力の向上のため、①「生徒が自主的に進める活動をたくさん取り入れる」、②「集団としての自治意識を向上させる取り組みを進める」、③「2年時の職場体験(職業観・勤労観の育成向上)をさらに3年時でも積み上げ『キャリア発達』に結びつけていく」ことをねらいとした。

修学旅行の目標

- ・ 自分たちの知りたいこと、学びたいことを課題として活動計画を作成し、意欲的に課題学習・分散学習に取り組む。【やってみる】【じっくり】
- ・ 取り組みを進める中で、互いを認め合い、理解しようとする姿勢を身につける。
【だいすき】【つながる】
- ・ 日本の政治経済の中心を訪れ、新たな発見をするとともに、平和に関する見学施設を訪れ、平和な世の中を守るために自分自身にできることを考える。
【まなぶ】
- ・ 集団行動を通して、安全に配慮しつつ、協力して取り組むことの大切さや社会生活のマナーを学習し、これからの学校生活にいかす。【すこやか】

育ちのプログラムに照らし合わせて・・・

2 日程（行程）について

5 / 12 水	三岐保々駅 近鉄富田 名古屋 東京 7:40乗合 8:11 8:28着 8:34 9:04着 9:38 …のぞみ116号(騒・対掛)11:20着 ……官公庁ウォークラリー(班別)……12:50 …国会議事堂見学…13:50 13:50発 地下鉄 15:00着 ディズニーランド～ 21:00から 21:30までにホテル(ヒルトン東京ベイ:千葉県浦安市舞浜1-8 047-355-5000)
5 / 13 木	ホテル 班別課題学習(都内職場訪問) 8:30 途中チェックポイントを通る おおよそ2箇所の訪問 日の出埠頭 サンセットクルーズ 東京夜景バス見学 15:45集合 …… 16:20～18:20着……18:40 (東京タワー・レインボーブリッジ・東京スカイツリー・ バス内夜食あり 東京ドーム) 20:30着 ホテル(第一ホテル両国)東京都墨田区横網1-6-1 03-5611-5211
5 / 14 金	ホテル 第五福竜丸展示館 9:00 地下鉄(両国 月島 新木場)9:30… 10:30新木場 お台場分散 東京レポート駅 東京駅 …11:00 14:00… 14:38 15:19 16:13発 名古屋 学校 解散 …のぞみ237… 17:57 18:15 (貸切バス) 19:15頃 解散式 荷物受け取り

2010年度実施要項：取り組みの中で重視したのは、自主的な活動を促すための班別活動【1日目…官庁街ウォークラリー 2日目…東京版職場体験学習 3日目…お台場分散活動】である。3日間とも生徒自らでコース作り・課題設定を行った。

3 ねらいを実現させるための具体的な取り組み

(1)課題学習 2日目・・・課題学習 東京版職場体験学習の実施について

修学旅行グループ別課題学習（東京版職場体験） 実施要項

1. ねらい
 - ・修学旅行の機会を利用し，日本の首都東京で興味関心を持っていることがらについて学習し，今後の中学校生活や進路選択に役立てる。
 - ・訪問先を自分たちでテーマにそって選び，依頼の仕方，当日の活動等におけるの礼儀作法を身につける。
2. 活動グループ
学級での生活班とする。
3. 課題設定の方法
テーマを決め，ア・イにおいてそれぞれ1箇所決定し，自分たちでコースを選定する。（合計2箇所）

ア 興味関心のあることがらの中で，この修学旅行の機会を利用して学習や体験ができそうなものを探す。
一般には公開されていない場所に行ったり，普段は話を聞けないような人に会ったりするのも良い。
時間内での体験や聞き取り学習を行っても良い。
一般に公開されていて，見学だけの場所は避ける。一方的な見学ではなく，質問にも答えてもらえるような双方向のコミュニケーションがとれるようにする。
事前に電話で連絡し，訪問が可能か確認をとっておく。
アに関しては，学校でも，過去の訪問場所や，体験先名簿一覧があるので，それらを参考に決定しても良い。

イ 博物館，美術館，記念館など都内にある見学施設を（テーマにそった場所），見学・学習する。

事前予約や確認が必要か否かは自分たちで調べておく。

注意事項

交通費・入場料などの費用は自己負担（お小遣いの中より）

活動時間は，ホテル（舞浜）発（9時ごろ）からサンセットクルーズ（日の出埠頭集合）の集合時間（15時45分）までとする。（現地までの所要時間を考慮する。）

昼食は各グループでとる。

チェックポイントを（後日決定）を必ず通過し，チェックを受ける。（または電話連絡とする）
できる限り前半の見学地は山手線沿いまたは内部とし，近くに公共交通機関の駅がある所とする。

他の班と共同することは禁止とする

運賃計算，路線検索は各班で資料，インターネットで調べる。

都内の電車や地下鉄はほぼ5～6分間隔で運行されているので乗り継ぎに必要な時間は，正確な時刻表でなくとも大体計算できる。

同じ駅でも乗り換えに数分かかるところ，また，違う駅名でも実はつながっているところもあるので路線図をよくみることに。

コースができたなら先生にみてもらい適切であるか判断してもらう。

上記実施要項にそって，2010年度は，職場体験東京版を行った。5ページに示した，2年時に行った職場体験で得た職業観・勤労観をさらに育むため，東京ならではの体験場所（企業の本社・出版編集社・放送社・官公庁・東京伝統工芸など）を自分たちで計画し，申し込みをし，連絡を取り合うなど，2年時の職場体験で行ったことを継承発展させながら取り組んだ。5月中旬での体験学習を4月に申し込むといった時間がない中での取り組みであったため，希望体験先に申し込みを断られるといった困難を経験する班もあったが，全班体験先を決定することができ，当日も大きなトラブルなく，無事学習を終えることができた。体験先から帰ってくる子どもたちの顔には充実感が漂っていた。

修学旅行職場体験学習一覽

修学旅行：2日目課題学習訪問場所一覽

リーダーメンバー	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
テーマ	東京の教育・環境政策について	将来に向けて	動物について考える	身のまわりの「物」を調べよう	通信	日本の未来を考える	未知の世界を知る「食」「詩」	科学	東京の芸術的な技術にふれる	「食」と「情報」	商品開発について学ぶ	「お笑い」を学ぶ
訪問先	東京都庁 電力館	日本獣医生命科学大学 東京都庭園美術館	上野動物園	江戸博物館(東京)	ていばーく	明治神宮	パナソニックセンター 相田みつお美術館	ソニーショールーム	NHKスタジオ109	東京デザートファクトリー NHKスタジオパーク	ロッテ	上野動物園 しょうとう美術館
8:30												
9:00	舞浜駅	舞浜駅	舞浜駅	舞浜駅 新木場	舞浜駅	舞浜駅 新木場	舞浜駅 国際展示場駅	舞浜駅	舞浜駅 新木場	舞浜駅	舞浜駅 新木場	舞浜駅 東京駅
9:30	新宿駅	新宿駅	東京駅	茨田町駅	東京駅					大塚町駅	市ヶ谷	
10:00	東京都庁教育委員会	新宿散策	国立西洋美術館	渋谷駅			相田みつお美術館			志村坂上駅	初台	吉本興業
10:30	武蔵境駅	武蔵境駅			ていばーく					渋谷駅		
11:00	新宿駅	日本獣医生命科学大学		戸栗美術館		パナソニックセンター				NHK放送センター		新宿3丁目駅
11:30	渋谷駅	上野動物園(見学)				国際展示場駅 大崎駅 原宿駅		ソニーショールーム			ロッテ	109しょうとう美術館
12:00	渋谷(昼食)	(昼食)	(昼食)	東京駅 新橋駅		原宿(昼食)	渋谷(昼食)					
12:30		武蔵境駅	上野(昼食)	渋谷駅 池袋駅			渋谷駅 中目黒		渋谷(昼食)	志村坂上駅		
13:00	電力館	新宿駅 目黒駅	上野動物園(聞き取り学習)	池袋駅	日テレ	明治神宮	ハーフンダツジャパン	電力館		原宿・竹下通り	新宿駅	昼食
13:30		東京都庭園美術館	上野駅	池袋駅	池袋駅	池袋駅	池袋駅	電力館	109	原宿・竹下通り	新宿駅	渋谷駅 原宿駅
14:00	渋谷						中目黒			原宿駅		
14:30	渋谷駅		日テレ		東京タワー		浜松町駅			NHKスタジオパーク	上野動物園(昼食)	竹下通り
15:00		目黒駅		池袋駅				渋谷駅	渋谷駅		上野駅	原宿駅
15:30	浜松町 日の出埠頭	浜松町 日の出埠頭	汐留駅 日の出埠頭	浜松町駅	(徒歩)	原宿駅	日の出埠頭	日の出埠頭	日の出埠頭	渋谷駅	上野駅	原宿駅
16:00										渋谷駅		
16:30												
料金合計	720円	1220円	880円	790円	920円	1080円	1650円	930円	780円	1420円	1100円	1010円

職業体験東京版・・・各訪問先のように



A組1班 訪問場所：東京都庁教育委員会

～教育について～

東京の学校ではどんな学習を大切にしているか、環境についてどんな取り組みを学習しているか。

小1問題(中1ギャップ)では小1・中1の学年に先生を多く入れて早く慣れるようにしている。

教頭先生のことを副校長という。

年に1回、道徳の授業を地域の人に公開している。

B組6班 吉本興業東京本社

決まりごと あいさつは基本！・約束は守る・時間におくられたりすると仕事になったりすることもある。

仕事内容 ・お笑いのお仕事・DVDの作成・サイト、HPの更新など

<最近はいろいろな会社と提供して仕事をしている>

吉本興業は東京と大阪に本社がある。お笑い芸人は公表しているだけで約800人!!最近では、NSC学校を卒業する人が多いため会社も正確には判断できていないようだ。





B組 5班 株式会社 ロッテ

活動内容・・・ロッテさんが用意して下さったビデオを見た。

・質問を事前に送って質問の答えを聞いた。

新商品の開発 一年で30～40！！

残るのはなんと！1，2個

ロッテの名前の由来など・・・

A組 2班 日本獣医生命科学大学

質問項目 ・獣医師の仕事について・獣医師が活躍するところ・動物病院とは・獣医師になるには
 ・大学で勉強すること・獣医に必要なこと・今までの勉強で役立ったこと



その他・・・「上野動物園（飼育係）」「造幣局」「ていぱーく」「パナソニックセンター」「ハーゲンダッツジャパン」「ソニーショールーム」「NHKスタジオ」「東京デザートファクトリー」

(2)～「やってみる」「つながる」力の向上のための取り組み～

1日目 官庁街ウォークラリー

時間	A組						B組					
	1班	2班	3班	4班	5班	6班	1班	2班	3班	4班	5班	6班
11:40												
11:45				法務省	皇居外苑							
11:50				警視庁			警視庁	皇居外苑	警視庁周辺		皇居外苑	
11:55		警察総合庁舎			二重橋					警視庁		
12:00	弁護士会館		警視庁	外務省			法務省	厚生労働省			農林水産省	日比谷グランド
12:05			国土交通省		特許庁				経済産業省			厚生労働省
12:10	東京地方裁判所								国土交通省	平和の像	総務省	
12:15	皇居外苑											
12:20	警視庁		海上保安庁	総務省			東京地方裁判所		警視庁		警視庁	農研機構
12:25	国土交通省	外務省		井伊屋留印跡	海上保安庁	外務省						内閣総理大臣官邸
12:30											国会議事堂駐車場	
12:35											国会議事堂駐車場	
12:40											国会議事堂駐車場	国会議事堂駐車場
12:45												

目的 官庁街を観て中央省庁の様子を知る

コース 皇居前楠木正成像～国会議事堂駐車場（徒歩約1時間のコースをつくる）

隊形 班別で行動する

時間 5月12日（水）11:40～12:40

出発地 皇居前楠木正成像前

目的地 国会議事堂駐車場

実施方法 スタート順 後日抽選にて決定

ルール 各班で永田町，霞ヶ関内を散策する。1箇所で行動のようすの写真または記録をとる。（他の人の迷惑にならないようにする）

注意点 必ず班行動をする。12時30分になったら，急ぐ（この場合，多少コースを外れてもいいので最短コースで来る）緊急事態時は近くの先生に知らせるか，本部携帯電話まで連絡する。

は記録ポイント

修学旅行 3 日目 お台場分散学習について

- ・ 第五福竜丸展示館での学習活動から、班別で行動し、お台場にて分散学習をする。
- ①班活動の開始は第五福竜丸展示館で説明を受けた後とする。
- ②展示館では、班でまとまり行動し、全員が記録をし、事後の学習に活かせるように活動する。
- ③展示館での学習後、各班は新木場から切符を購入し、りんかい線で東京テレポート駅へ向かう。【駅がチェック P】
- ④おおよそ東京テレポート駅着を 11 時とし、お台場での活動を 11 時スタートとして計画する。
- ⑤昼食は各班でとり、必ず昼食の（場所，時間）を設定する
- ⑥東京テレポート駅前に 14：10 までに必ず集合する。
- ⑦他の班と共同することは禁止とする（見学場所が偶然重なるのはかまわない）
- ⑧入場料金・移動料金は各自負担とするのでしっかりと調べ用意しておく。



↑お台場分散のようす

事後学習 学習発表会のようす（6月19日 土曜日）

東京職場体験学習の内容を各班がまとめ学校オープンデーの日に保々保育園・幼稚園・小学校の職員，地域の方，保護者を対象に発表した。各班 5 分の発表時間で行った。また，修学旅行終了直後にかいた班新聞も発表場所で掲示された。当日はたくさんの参観者を前に少し緊張しながらもしっかりと各班が発表しあうことで，学びを交流しあうことができた。



(3) 2010 年度の取り組みを振り返って

2010 年度の修学旅行では、左記のように

個人で「育ちのプログラム」にそった目標をたて毎日、その反省を続けた。

3年総合的な学習～修学旅行～		「育」を大事につなげる子ども					
目標	A 高くできた	B できた	C 努力が必要	達成 達成	取組継続を振り返って		
思いやりの心をつなげる 思いやりの心をつなげる。高い意識をもち、理解しようとする姿勢を身に付ける。			A	A	A	A	個人で修学旅行での6視点目標をたて毎日振り返った。そのときの個人シート
じっぴや、やってみる 自分たちの思いやりの心、学びたいことを実践し、活動計画を作成し、実践的に課題学習が数学期に及ぶこと。			B	B	B	B	
学ぶ姿勢 実践を通して、学習に励むこと。また、実践を通して自分の学習成果を発表し、他の学年やクラスと交流すること。			B	B	A	B	
家庭と 家庭とつながり、思いやりの心をつなげる。			A	A	A	A	

「つながり」の強化と、積極的に「やってみる」意欲の向上を見受けることができた。また、体験学習によって、「調理関連の職に進みたいと思うようになった（ロッテ訪問）」や、「栄養士になりたい。そのために高校も調理関連の学科に進みませず（ハーゲンダッツ・ジャパン訪問）」といった自分の生きかたに結びつける取り組みになった生徒もいるなどの成果があった。

3年生のスタートです！！

～目標をもって取り組もう～

- ★ ありのままの自分を知り、いいところを伸ばし、苦手と向き合っていこう！ 【だいすき】
- ★ 相手の思いを聞きながら、自分の本当の思いを伝えられるつながりをつくろう！ 【つながる】
- ★ 苦しいことや逃げ出したいことも、最後まで遣り通そう！ 【じっくり】
- ★ 自分の殻を破り、自分から積極的に挑戦していこう！ 【やってみる】
- ★ 保々中の最上級生！ルールやマナー・約束を守る姿勢を大切にしよう！ 【すこやか】
- ★ 目標を立てて、学習を継続的に進めていこう！ 【まなぶ】



個人の6視点・目標↓

『今を未来につなげられる子をめざして』～18年間(社会へ)の育ちのプログラム～

3年生 / 組

視点	大まか 小まか	18年間の目標	目標達成のために具 体的に取り組んでいくこと	18年間の育ち 成果と課題	進んでいきたいこと 気をつけたいこと	目標	
大まか	すべての人を大切に する心をもち、自分自身 の思い、気持ちに気づき、 思いやり、思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	C
小まか	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	思いやりを伝えること	A
じっくり	工夫を凝らすこと、 自分自身を大切に すること	自分自身を大切に すること	自分自身を大切に すること	自分自身を大切に すること	自分自身を大切に すること	自分自身を大切に すること	A
やってみる	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	自分の殻を破り、 自分から積極的に 挑戦すること	A
すこやか	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	ルールやマナー、 約束を守ることを 大切にする	A
まなぶ	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	目標を立てて、 学習を継続的に 進めること	A

学級目標を決めよう

- 目的
 - 学級の一員としての自覚をもち、学級の一人ひとりの期待や抱負を大切にして、学級共通の目標を自分たちの話し合いで決定する。
- 進め方
 - 司会記録は学級役員(学級委員・書記)



進め方	内 容
はじめ	○議題を板書する。 『学級目標を決めよう！』 【だいすき】【つながる】【じっくり】【やってみる】【すこやか】【学ぶ】
提案	「今から、学級目標についての話し合いをします」 ○提案理由の説明をする。 ・学級目標の必要性や全員で決めることの大切さについて、学級委員が話す。
方法	○学級目標の決め方を説明する。 1 『育ちプログラム』の6視点をもとに考える。 自分たちのクラスは、どんな力をつけていきたいか、1年後どんなクラスで卒業したいか・・・など「めざすクラス像」を、一人一人が考える。 みんなの願いや意欲や期待などの表れているキーワードを見つかり考えたりして、カードに書こう。 2 班で同じ内容のカードをまとめて画用紙に並べる(貼る)。 3 班で、みんなの願いや意欲をまとめた目標(6つを考える)を決める。 4 班で考えた6視点をもとにした目標の候補を黒板に書く。 5 話し合いで決定する。(6つ) 6 6つをもとに、学級目標を決めるための話し合いをする。 自分たちのクラスにふさわしい目標をひとつの言葉(文)にする。 7 学級目標を決定する。



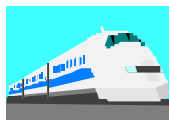
2011年度・3年生の学年のようすより、この学年の『保々地区18年間(社会へ)育ちのプログラム』にそった目標をみんなで考えた。その結果、本学年の目標として、【つながる】⇒相手の思いを聞きながら、自分の本当の思いを伝えられるつながりをつくろう！【やってみる】⇒自分の殻を破り、自分から積極的に挑戦していこう！を重点的に上記の6視点にそった目標を挙げた。そして、その目標に向けての取り組みの1つとして「修学旅行」に関して以下のスローガンと6視点での目標をたてた。また、

この学年は『ありがとう』の気持ちで「つながり」あえる取り組みを進めており、修学旅行では感謝の気持ちでつながりあう取り組みを自分たちで進めていく』ことを第一目標として(「やってみる」「つながり」)『みんなとつながる』と『実行委員はもとより自分たちで進める取り組み』そして本年はさらに、「まなぶ」⇒

修学旅行の目標・実行委員より

○全体スローガン

- ㊦ いさつをしっかりと
- ㊦ ようさきではめいわくをかけず
- ㊦ たくしゅうをしっかりと
- ㊦ もだちときよりよくしあう
- ㊦ ちらさいこう



豊かな感性
班で協力し合い、平和学習に取り組む、意見が言い合えるなかまになる。

やり切る態度
粘り強く、人に任せないで、自分で挑戦していく。

生きぬく基礎
保々中生として自覚をもちその場に合った行動をする。

広島・神戸を訪れることで、戦争や震災によって破壊されたまちがどのように「復興」に向け歩んできたかを「まなぶ」ことも重点目標に入れた。

2011年度の修学旅行は当初は東京方面を予定していたが、東日本大震災の発生を受け、訪問先を急遽、広島・神戸方面に変更した。これは、いろいろな事情がありながらも、何よりも第一に「復興」に向けた歩みを「広島」「神戸」から学ぶことの大切さを感じたからである。

2 日程について

2011年度 修学旅行行程表

目的地 広島県（広島市）、兵庫県（神戸市）、大阪府（大阪市）

6 / 20 月	7:15 三岐保々駅 7:50 8:07 着近鉄富田駅（急行）8:18 8:47 着名古屋駅 9:25 のぞみ101号（駿・浜・参着）11:45 広島駅 11:55 平和公園周辺・平和公園内碑巡り（班別学習）...13:30 平和公園内集合・平和記念資料館見学...14:20 平和祈念館集合 14:30 平和講演 15:30...15:40 平和記念資料館 再見学...16:20 移動 17:10 宮島口着～ 17:20 宮島 17:30...厳島神社...宮島 18:45～宮島口 18:55 19:40 ホテル・夕食 （グランドプリンス広島：広島市南区元宇品町23-1 082-256-1111）
21 火	ホテル 8:00 9:00 広島駅 9:42 発 のぞみ118号 11:01 着新神戸駅.....神戸班別 分散学習（チェックポイント通過）...17:30 ポートタワー集合...全体で夕食 （南京町） 20:30 頃 ホテル（シエラトン都ホテル大阪：大阪府大阪市天王寺区上本町6 06-6773-1111）
22 水	ホテル 9:00 9:30 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 15:00 18:00 頃 学校着

電車 バス ...徒歩移動 ~フェリー

服装・持ち物・きまりは実行委員会にて決定

組織 実行委員会（各クラス6名）..全体の決まり、指揮、部屋・座席割り振り、しおり（各クラス学級委員・書記を含む） 反省など

各係..各班内にて係（一人一役）を決める【班長・副班長・活動・保健・美化・記録】

班長...集合点呼・班員への指示・班のまとめ、本部への連絡係

副班長...班長の補佐・生活・規律・行動面での呼びかけ

活動...地図案内・計時

保健...班員の健康管理・体調チェック

美化...新幹線・バス・行動中の美化活動 記録...訪問先での記録・記録写真

全員が心がけること、行うことの中になることです。

部屋内美化・部屋での生活面・個人での記録などは全員が行う。

目標達成のための手立てとして 「実行委員を中心に自分たちでいろいろと決めていくこと」、

「広島・神戸では自分たちで考え・調べたコースで班別分散活動を行う」、 「平和の大切さを実感する」、(平和学習)を中心的な柱として据えた。そして事後学習では個人新聞のほか、「復興」というテーマを掲げ、修学旅行を通して学んだことを発表することになっている。

3 ねらいを実現させるための具体的な取り組み

(1) 『やってみる』力の向上のため① ～実行委員を中心に自分たちで進める取り組み～

活動計画

月	日	曜	修学旅行(学活・総合)関係	実行委員会(放課後)
5	9	月	修学旅行に向けて班設定(1時間)	第1回実行委員会(スローガンについて)
	10	火	スローガン・ルール討議(1時間)	
	11	水	神戸分散学習班別コース決め(2時間)	第2回実行委員会(スローガン決定・ルール討議)
	12	木	神戸分散学習班別コース決め(1時間)	
	16	月	神戸分散学習最終決定	第3回実行委員会(持ち物・ルールなど)
	19	木	ルール実行委員より提案・学級討議(1時間)	
	23	月	広島平和学習コース班討議(1時間)	第4回実行委員会(部屋・座席・など)
	25	水	広島平和学習コース決定(1時間)・班内係決め	
	27	金		第5回実行委員会(ルール・持ち物討議・しおり作成)
	30	月	実行委員より説明・討議(1時間)	第6回実行委員会(学級討議を受けて)
	2	木	部屋割り・新幹線座席きめ(1時間)	第7回実行委員会(USJ活動形態)
	3	金		しおり原稿締め切り
	6	月		第8回実行委員会(講演に向けて)
	7	火	USJ活動形態について(1時間)	第9回実行委員会(USJ活動形態)
	8	水	USJ教育プログラムについて(1時間)	
	9	木	しおり綴じ(1時間)	第10回実行委員会(USJ活動形態)
	13	月	USJ活動形態について(1時間)	第11回実行委員会(USJ最終確認)
	14	火		第12回実行委員会(広島について)
	15	水	学年集会 しおり説明(1時間)	第13回実行委員回(各セレモニーについて)
	16	木	事前指導・最終確認	
	19	日	事前指導(荷物発送)	

実行委員を中心に取り組んだこと↓

- スローガン.6 視点目標 ○服装 ○持ち物
- ルール ○お小遣い ○USJのグループ

服そうについて

★ 3日間を通して制服とします★

↓
学校指定の標準服(スカートはひびく・スボンの裾が破れていない)

実行委員で話し合った理由

- 1日目
 - ・原爆ドームに行くのだからちゃんとした服装がいいと思う。
 - ・集中して学習に取り組むには制服がいい。
- 2日目
 - ・訪問先に失礼のないようにするため。
 - ・迷ったときも見つけやすいから。
- 3日目
 - ・写真屋さんで写真を撮ってもらうため。
 - ・最終まで気を抜かないようにするため。
 - ・私服だとルールを決めなくてはならない。
 - そのルールに合った服がなければ買わないといけない。
 - ・けじめ・スローガンに対するおもい。
 - ・毎々中学生としての誇りをもって!

↑服装について・・・実行委員会を中心に全員

で討議・・・結果「制服」で行くと決定。

持ち物についての注意事項やお小遣いについてなども実行委員が全体に聞き、最終決定をした。 ↓実行委員会のようす

★ 持ち物についての注意 ★

- ①上ランプ・UNO・ジューン以外のゲーム類は禁止。
- ②所持金は13000円以内です。余分は持っていきません!
- ③学校に持って来てはいけない物は当然のこと。3年生として自覚のある行動を。
- ④持ち物には必ず名前を書きましょう。
- ⑤体験や分散の役立つ資料がある人は持参してよい。
- ⑥ドライバー・ヘアアイロンは持ってこない。
- ⑦テスト勉強の道具は持ってこない。

以上のことをしっかりと守り、

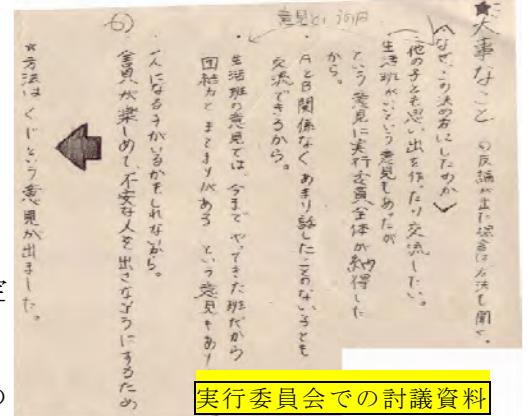
楽しく充実した修学旅行にしましょう!

「ユニバーサルスタジオジャパンでの活動形態について」

- 実行委員会で検討(生活班でどうですか) ⇒ クラスで意見集約(反対意見多数) ⇒ 実行委員会で検討(学年でくじでグループをつくる) ⇒ 学年集会にて発表(数人・反対意見) ⇒ 実行委員会(3~7人グループを自分たちで考え組む) ⇒ 決定
- 学年集会にてグループづくり・・・グループ決定

☆ 実行委員会・学年集会など7時間以上かけグループ決めの

討議をした。途中、紆余曲折を経たが、最終的には、皆が本音で意見を言い合うなど、この学年の「弱み」(表面的な言い合いしかできない)を少しでも克服することができた。



実行委員会での討議資料

(2)「やってみる」力の向上のため ~自ら進める分散学習~ 神戸での分散学習計画一覧

修学旅行:2日目課題学習訪問場所一覧

	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	
リーダーメンバー															
テーマ	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ラインの館	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ラインの館	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	人と防災未来セ ンター	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	ラインの館	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク	ラインの館	人と防災未来セ ンター	ラインの館	1.17希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント 神戸港震災 メモリアルパ ーク
訪問先	南京町 ハーブ園	王子動物園 カワサキワールド	元町商店街 須磨海浜水族 館	南京町	水の科学博物館	北野異人館 南京町	南京町 ハーバーランド	北野異人館	王子動物園 北野異人館	南京町	王子動物園 生田神社	須磨海浜水族館 神戸市立青少年 博物館	北野天満宮	南京町	王子動物園
11:00	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅	新神戸駅
11:30	ハーブ園(昼食) ★ 王子動物園(昼食) ★	布引バス停 王子動物園(昼食) ★	三宮(地下鉄)	地下鉄三宮	徒歩	ラインの館	北野異人館 オランダ館	三宮 春日野道駅(阪神)	アメリカンティ ムミュージアム	王子動物園	バス	徒歩	地下鉄西神 三宮・三宮(阪急)	徒歩	王子動物園
12:00			希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント	東遊園地 慰霊と復興の モニュメント	三宮(昼食) ★	ラインの館	人と防災 未来センター					ラインの館	神戸市立 青少年科学館 (昼食) ★	ラインの館	王子動物園
12:30			旧居留地									王子動物園	風見鶏の館 ★		
13:00			元町商店街(昼食) ★									風見鶏の館			
13:30												風見鶏の館			
14:00	ラインの館 ●CP	王子公園 緊急三宮 花時計			大倉山駅(地下鉄)	昼食 ★		春日野道駅(阪神) 三宮 地下鉄三ノ宮駅	市役所前 元町商店街 中華街	王子公園 オランダ館	王子公園駅 (阪急)		三宮(阪急) 春日野道	三宮 希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP	三宮 希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP
14:30	徒歩	希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント●CP	元町駅	須磨海浜公園駅	南京町(昼食) ★		神戸の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP	神戸の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP	市役所前 元町商店街 中華街	ラインの館(昼食) ★	三ノ宮駅		人と防災 未来センター		
15:00	希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント	アメリカンパーク 神戸港 メモリアルパーク	須磨海浜水族館 ●CP		大倉山駅(地下鉄) 三宮		神戸フラッグ	神戸港震災 メモリアルパーク	市役所前 元町商店街 中華街	王子公園 オランダ館	王子公園駅 (阪急)		三宮(阪急) 春日野道	三宮 希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP	三宮 希望の灯り 慰霊と復興の モニュメント ●CP
15:30	徒歩	カワサキワールド			神戸港震災 メモリアルパーク ●CP		神戸港震災 メモリアルパーク		市役所前 元町商店街 中華街	王子公園 オランダ館	王子公園駅 (阪急)		人と防災 未来センター		
16:00	南京町														
16:30															
17:00															
17:30	ポートタワー	ポートタワー	元町駅 ポートタワー	ポートタワー	ポートタワー		ポートタワー								
18:00															
18:30															

修学旅行グループ別課題学習について「ねらい」を 「66年前、原子爆弾が落とされ壊滅的な被害を受けた広島と、16年前、震度7の揺れを記録した阪神大震災によって甚大な被害を受けた神戸を訪れ、当時の被害の大きさやようすを学習するとともに、その後の復興のあゆみを知ること、支えあい・助けあうことの大切さや、希望を持つことが前進へとつながったことを知るとともに、3月11日に発生した東日本大震災によって大きな犠牲・被害を受けた東北地方の復興への願いとかさなるような取り組みにしていく」、「訪問先を自分たちでテーマにそって選び、自主的に活動に取り組む。また、事後学習で発表することで表現・技能の力を身につける」、「班活動を通してなかまがつながりあい、互いを認めあい、助けあう大切さを体得する」とした。

活動グループは学級での生活班とし、訪問先決定の方法は広島・神戸とも全班テーマは「復興」とした。広島では平和公園・平和記念資料館や平和に関する資料館を訪れ、神戸では、必ず2ヶ所は阪神大震災に関わる場所を訪問し、その他については自分たちで、自主的に見学・訪問先を決定することとした。事後学習として、「壁(班)新聞の作成...発表内容は自由(できるかぎり見やすく、きれいなもの、自分たちが行った場所をわかりやすく説明する)、

- 広島分散学習訪問先(広島駅出発)
- ・原爆ドーム(全班)
 - ・本川小学校(4班)
 - ・袋町小学校(2班)
 - ・旧日本銀行広島支店(2班)
 - ・平和公園碑めぐり(全班)
 - ・平和記念資料館(集合場所)

「テーマ『復興』に関わる発表を(広島・神戸について学んだこと)体育館での舞台発表で行う。できるかぎり「復興」への願いが伝わるような発表にする(例:紙芝居 朗読劇発表 寸劇発表 作文での発表 ビデオ発表 パソコン《工夫して》での発表等)」を実施することにした。

(3)「まなぶ」力の向上のため・・・平和を願う学習の取り組み・・・

「いのちの尊重」と「人権を守る」ことの大切さを、平和学習を通して理解する。

- ・ 戦争の惨めさを知り、戦争に対し怒りをもつ。
- ・ 平和な世の中は、過去の出来事があるって成り立っていることを知るとともに、平和の大切さを知り反戦の意識を持たせる。
- ・ 戦争が残した傷跡を知り、戦争の悲惨さを次世代へつなげる。
- ・ 平和を維持していくために、私たちがしていかなければならないことを考える。

学習計画

第1時・・・	広島について	4月20日(水)	第5限
第2時・・・	戦争とは ワークシート 「開戦にいたるまで」「四日市の戦跡」	4月21日(木)	第6限
第3時・・・	戦争とは 「朝鮮半島について」「アジアについて」「太平洋戦争」「沖縄戦」	4月25日(月)	第5限
第4時・・・	「沖縄戦」について知る(「沖縄戦ビデオ視聴」感想記入)	5月18日(水)	第5限
第5時・・・	沖縄戦で感じたこと・現在の沖縄について・そして「ヒロシマ」へ	5月26日(木)	第6限
第6時・・・	広島におとされた原子爆弾とは(調べ学習) パソコン室	6月1日	第5限 (A組は6月2日)
第7時・・・	広島におとされた原子爆弾とは発表	6月6日	第5限
第8時・・・	「ヒロシマ」平和学習に向けて 『TBS戦後60年特別企画「ヒロシマ」』ビデオ視聴	6月10日	第6限

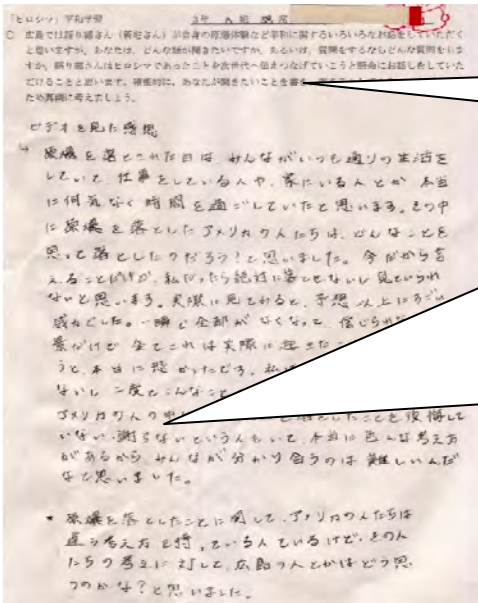
6月20日【月】修学旅行にて

広島分散学習(袋町小学校・旧日本銀行広島支店・本川小学校・平和公園内記念碑めぐり・平和記念資料館見学)

平和講和 平和公園追悼祈念館 **事後学習**まとめを、2学期舞台発表の予定

上記のようなねらいや計画のもと、およそ8時間かけて平和学習を行ってきた。現在の広島についての調べ学習から、戦後、「広島がどのように復興してきたのか」を学習した。そして、そもそもなぜ、どのような過程で「ヒロシマ」に原子爆弾が落とされたのかを考えると、日本が戦争に至った経緯をしっかりと学習することが大切だと思い、太平洋やアジアにおけるできごと、そして沖縄戦や自分たちの住む町「四日市」での空襲についても学習を積んだ。そして、平和学習のまとめとして、広島での班別分散学習、平和公園において語り部さんからの聞き取り学習を行った。校内においては、本校教師の祖父(小学校教師)が残した戦争関連の資料をお借りし、展示した。軍隊手帳や当時のこどもたちのようすがわかる資料を廊下に並べたところ、70年も前の出来事であるが、それら資料から当時のようすがよく伺え、平和学習を進めていくうえで大変貴重な学習教材となった。





「ヒロシマ」平和学習

「ヒロシマ」平和学習ビデオ視聴の感想と語り部さんに聞きたいこと・・・

「今のビデオを見ていたら、原爆を使用したから戦争が終わったという外国の話を聞きましたが、もっと平和に分ち合えなかったかと思います。語り部さんからは当時の状況や人々の気持ちなど、とにかく今、生きている私たちに、その当時の人しか感じられなかったことを聞きたい。そして聞いたことをしっかりと受け止め、それを伝えていきたいと思います。最後に『平和って何ですか』と聞きたい。今の時代のありがたさを（自分が）感じられたらと思います」



旧日本銀行広島支店よりここで出会ったNPO法人の方より「MY HIROSHIMA」（著者：森本 順子さん）という本を生徒全員分いただきました。

平和資料館での学習のようす⇒



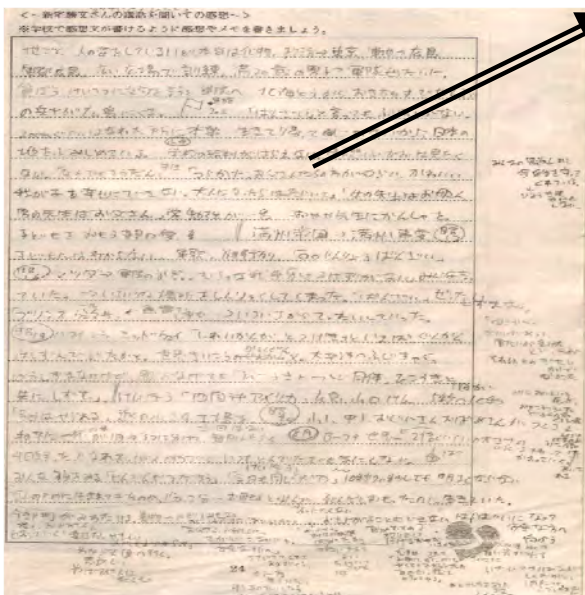
聞き取り学習のようす↓



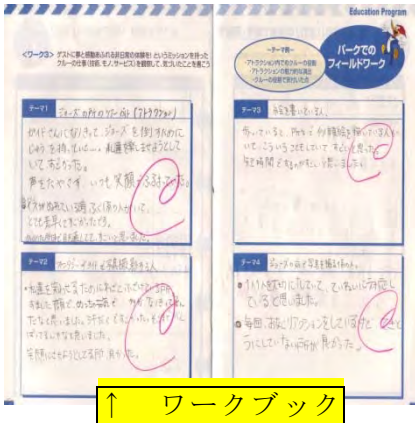
しおりに記入された生徒感想より

「ビデオで見るだけでは伝わらない、被爆したものの感触とか、教科書を読むだけでは解らない原爆被爆者の状態とか、実際広島に行くことでしか伝わらないものをたくさん感じることができました。そして特に思ったのは、遠く感じる昔の戦争にも、私たちと同じ、死を恐れて幸せを夢見る人たちが、あのとき確かにそこに生きていたということです。(省略) お話しを聞いて命を大切に思う気持ちは同じなんだと思いました。一人ひとりに人権があって、尊重される今を、私たちは犠牲になった人たちのことを忘れずに生きていかなければならないと思いました」

←ぎっしりとかかれたしおりのメモ欄



ユニバーサルスタジオジャパン・教育プログラムの実施……事前学習 2 時間



↑ ワークブック

ユニバーサルスタジオジャパンの Education Program を行った。

事前でおよそ 2 時間の学習をつみ以下の課題に対して当日取り組んだ。

- ①「職業・職種をイメージする目を養う」,
- ②「『役割』の視点で職業・職種を考える」,
- ③「『意志』『役割』『能力』の関連で職業・職種を考える」



↑クルーに話しを聞く
保々中生徒

事後学習について

修学旅行事後学習・・・個人新聞と班発表

だいすき つながる
じっくり やってみる

「修学旅行個人新聞」「体験・聞き取り『復興へのあゆみ』発表」

①「個人新聞」

- ・ B4 レポート用紙に書く。紙は縦に使用。
- ・ 3 日間の道中記を書く。
- ・ 個人名を必ず入れる。
- ・ 新聞のタイトルは自分で考えて書く。
- ・ いつの出来事かわかるように日付を入れる。
- ・ 感想は必ず書く。
- ・ 写真やパンフレットを貼ってもよい。

⇒1 学期末に廊下にて発表・文化祭においても展示



②「体験・聞き取り『復興へのあゆみ』発表」

- ・ 広島、神戸の班別分散学習で学んだことについて発表計画をする。
- ・ テーマに沿った内容で作成すること。 ・ 各班、5 分程度の発表になるよう計画する。
- ・ 発表形式は自分たちの思いがよく伝わるように工夫する。

例) ・ 寸劇・朗読劇・レポート発表 (パワーポイント) ・ ビデオ制作

- ・ かみしばい・聞き取り発表・映像を入れ一問一答式での発表など

- ・ 写真、パンフレット、資料、絵など視覚教材があれば使ったほうが良いが、各班で取り出せない場合は、先生にいう。(資料等を取り込むなどできるように資料をきちんと集めて整理しておくこと。)
- ・ 協力し、工夫し、自分たちが学んだことを精一杯伝え、みんなで平和のありがたさ、復興へのあゆみへの願いを表現していきましょう。

5～7 時間で終了予定です。2 学期のオープンデー (10 月 1 日【土】) で発表予定 (発表日は変更するかもわかりませんが) です。班で協力して、アイデアを出し合い頑張りましょう。

9 月 14 日現在 **A 組** 1 班「震災の苦しみ」 2 班「震災から学ぶ～人と人とのつながり～復興へ」 3 班「震災」 4 班「復興～今、日本のすべきこと」(プレゼンテーション) 5 班「PEACE」 6 班「ボランティア」 7 班「防災」(プレゼン) **B 組** 1 班「震災」(プレゼン) 2 班「地震」 3 班「平和への道」(紙芝居) 4 班「原子爆弾について」(劇) 5 班「震災からの復興」(プレゼン) 6 班「阪神大震災より」(模造紙) 7 班「復興」(プレゼン)



(5) 2011年度の取り組みを振り返って

- **行程** ・東京から広島に急に変更したこともあるが、その点では適切であった。
- ・広島⇒神戸を新幹線移動にしたのはよかった。特に神戸での日程に余裕ができた。
- ・広島での時間をもう少し確保したかった。
- ・平和講和は大変有意義であった。だからこそ、質問時間をさらにとれるとよかった。資料館での見学ももっととりたかった。宮島見学はよかった。
- **事前** ・実行委員会を何回も行い生徒が自主的に進める修学旅行の取り組みになった。
- ・スローガン（6視点）・服装・ルール・お小遣いを実行委員会中心に討議・決定したことから自治意識が向上した。

・USJでの活動グループ決めについても実行委員会を中心に多くの時間を費やした。二転三転したが、最終的に学年がまとまる方向に進むとともに、意見を言い合う活動ができたのは、この学年がもつ「弱み」の克服に向けた取り組みにつながった。

・神戸分散や広島分散では班の中で意見を言い合い決めていくことができたが、班の中で意識に差があった。当日は協力して取り組めた。

○ **平和学習**

- ・8時間以上をかけて取り組んだ平和に関する学習は、戦争に対する知識を得ただけでなく、平和への願いを一層高めることができ、たいへん良かった。
- ・聞き取り学習も生徒にとってはたいへん印象が深く残り、平和学習のまとめとしてよかった。

○ **事後** ・1学期中の時間が少なく、直後の事後指導の時間をもう少し確保したかった。



↑解散式であいさつする実行委員会

V おわりに

2010年度・2011年度と、保々地区で取り組む『18年間（社会へ）の育ちのプログラム』を基本に“目標”を設定することで「修学旅行でつきたい力」をみんなで共通認識して進めていくことができた。2011年度は急な行き先変

更があったにも関わらず、「自分たちが修学旅行で何を目標しているか」を忘れることなく、教師・生徒そして保護者とも充実した修学旅行にすることができたのも、その成果であると考えます。中学校生活の中でも一大イベントである修学旅行での取り組みを、生きる力に結びつけていくため、今後も成果と課題を明らかにしながら、学校・園、家庭、地域が一体となり“今を未来につなげるとりくみ”を続けていきたい。